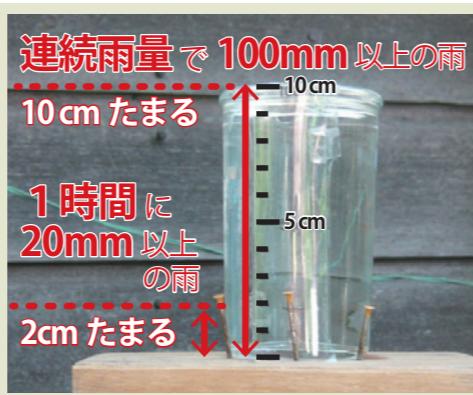


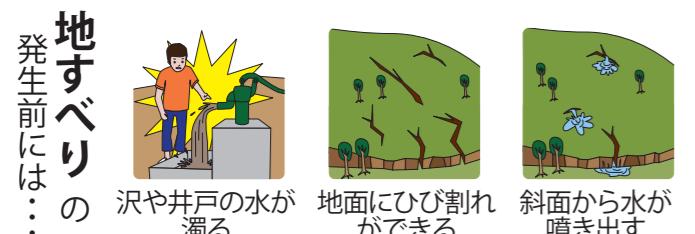
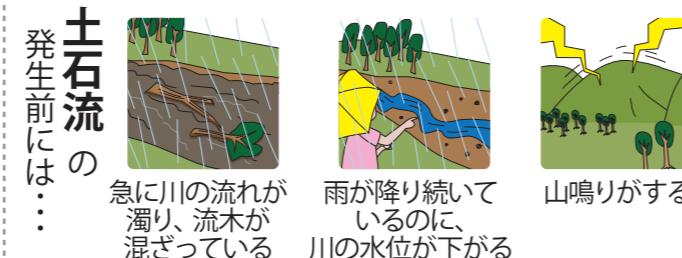
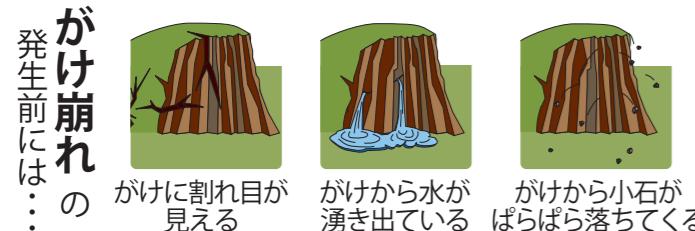
！雨量に注意する習慣をつけましょう

気象予報などを見ると、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。右図の雨量が土砂災害発生の危険が高まる目安とされています。

高さ10cmのカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です



！前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう



この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようないい（腐葉土、下肥のいい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとるなど

！情報を積極的に収集し、避難対応に活用しましょう

テレビ・ラジオ
※テレビのデータ放送は下記参照



市や気象庁のホームページ



緊急速報メール（エリアメール）



いわてモバイルメール
※QRコードから登録できます



防災行政無線・広報車・防災釜石広報 ☎ 0800-8003199
※防災行政無線の放送内容を電話で確認できます



自主防災組織（町内会）



家族、ご近所、お知り合いに聞くのも立派な情報収集！！

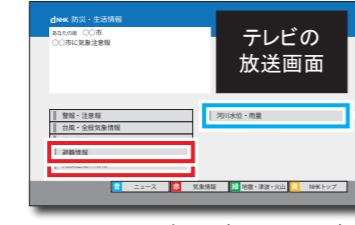
データ放送での確認方法 地デジテレビでNHK（地デジ1ch）を選択し、リモコンの④ボタンを選択

① 防災・生活情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

② 確認したい情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

③ 河川の水位・雨量を確認



（テレビ画面イメージ図）

日向振興会・日向団地親交会

洪水・土砂災害 自主避難計画

当町内会では、住民全員が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

1 日頃から住民全員がやっておくこと

- 地域の避難箇所、避難経路を確認 !!
- 雨量に気を配る習慣をつけましょう !!



『洪水・土砂災害緊急避難地図』（中面）を確認しておきましょう

2 雨が降り始めたら・・・

各自で雨量を計測（裏表紙を参照）

→ **自主避難の基準** となる現象が起きていないか確認 !!



3 自主避難基準に達したら、町内会役員等に報告し、それがすぐに避難対応！ → 状況を共有して町内会みんなで避難対応！



自主避難基準

以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- **自主避難の基準** が確認された場合（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- 地域内のがけや沢で **土砂災害の予兆現象**（裏表紙に示す現象）が確認された場合
- 釜石市役所が “避難準備・高齢者等避難開始”、“避難勧告”、“避難指示（緊急）”を発令した場合

※上記以外の状況でも避難が必要と思う状況になった場合や、台風接近などで早い段階で大雨が予想される場合においても、身を守ることを第一に考えた避難対応をしましょう。

いざというときの避難対応 『「早めの避難」が重要！避難に時間のかかる方は早めの行動が必要です』

台風や深夜の大雨が事前に予測される場合

鶴住居小学校・釜石東中学校 第1体育館・第2体育館 へ避難

遠くまでの避難が困難な場合

比較的安全と思われる場所や建物 へ避難

状況によっては
自宅待機が最も安全な場合もあります



移動に危険が伴う場合（すでに道路が冠水など）

がけや沢から少しでも離れた頑丈な建物の2階以上 へ避難

※この計画は平成30年12月～平成31年2月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、日向振興会・日向団地親交会として検討したもので。

釜石市 鵜住居地図

洪水・土砂災害緊急避難地図

日向振興会・日向団地親交会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しそぎ、**地域住民自らで危険に気づきいざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報



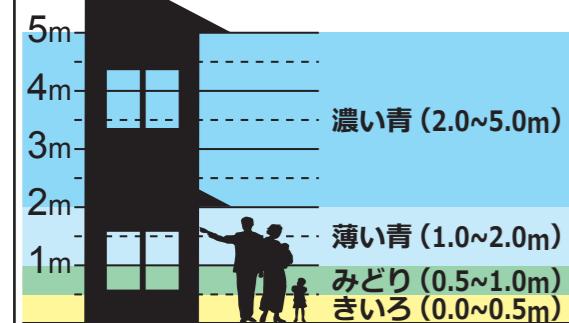
土砂災害の危険性

土砂災害の危険性が
特に高い区域
(急傾斜地の崩壊・土石流)

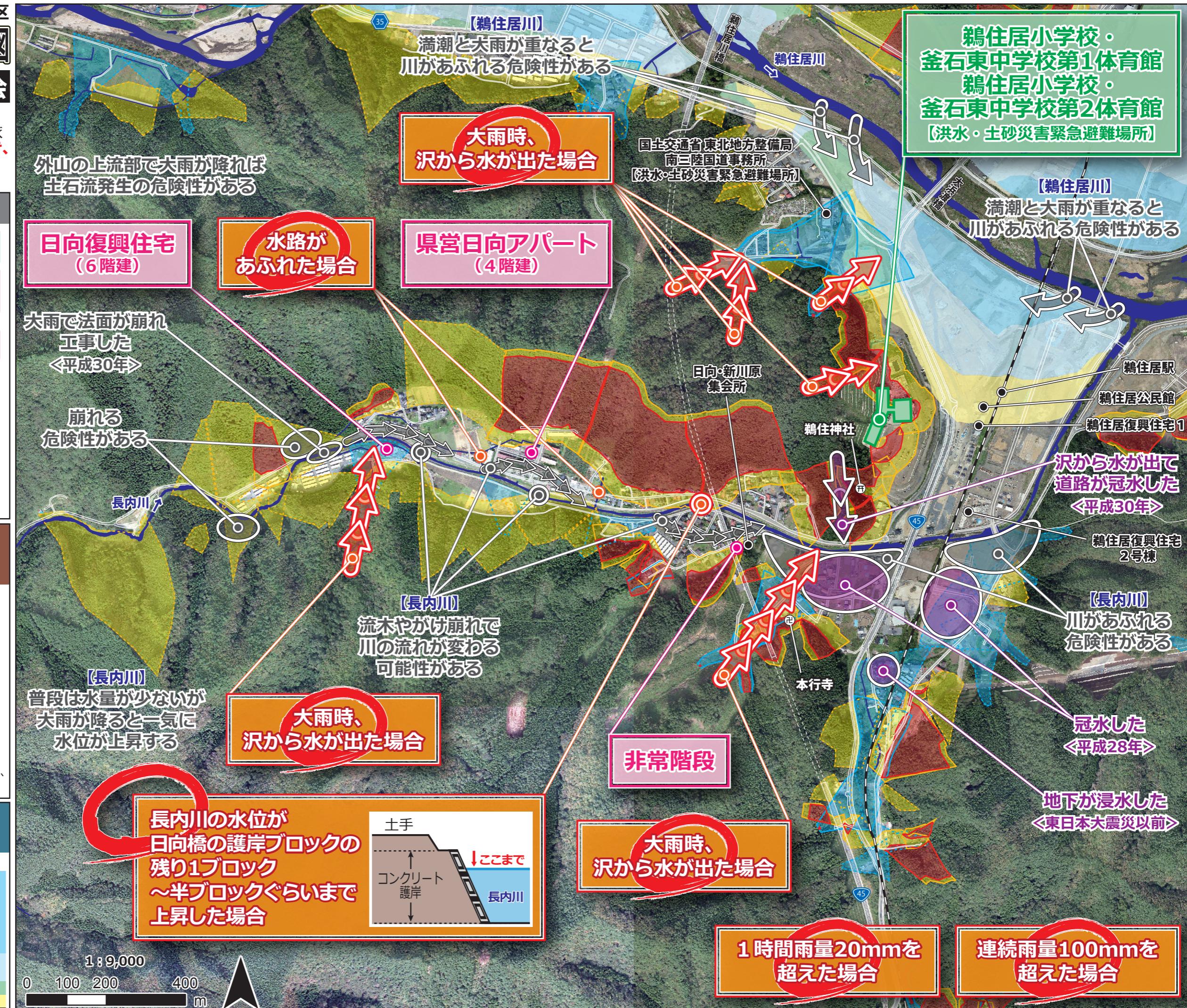
土砂災害の危険性が高い区域 (急傾斜地(がけ崩れ)の崩壊)

上砂災害の危険性が高いた区域
(土石流)

洪水ハザードマップ (鷺住居川浸水想定区域図に基づく)



【平成 31 年 3 月 作成】



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第909号) 航空写真は、2016年9月に岩手県が撮影した写真を使用した。